

第4回 農村・農業体験交流会企画

利用者がふえ、交流と楽しみ一杯の魅力ある市民農園を考える

市民農園サミット御案内 人々が集まり、地域の活性化につながる魅力ある市民農園にしていくために 何が必要か

【開催趣旨】

昨今、市民農園は、都市の住民が、レクリエーションをかねて、農業・農村に親しみ、自家消費用野菜・花の生産、栽培の生きがいづくりなどの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園が注目され、広がっています。

京都市北区大森地区は、高齢化、過疎化が進む中で、平成23年に、地域の活性化の拠点として集落の中心地に市民農園を開設し、都市住民の方々と交流し、地域の活性化をはかろうと取り組みをはじめています。この地区を対象に、魅力ある市民農園にするためには、何が大切かを考え、課題をどのように解決していくかを考えながら、これからの市民の在り方を考える「市民農園サミット」を開催します。また、この地区は古くからの神社や仏閣があり、特に、中川地区は川端康成の小説「古都」の舞台にもなったところです。



【日 時】 2014年3月29日（土）午前10時30分開会～午後3時、後、中川地区の見学

【会 場】 京都北山杉の里総合センター（京都市北区中川川登74 TEL:075-406-2212）及び大森地区

【企 画】

一、開会のあいさつ

一、市民農園の役割と農のある暮らし、魅力ある市民農園づくりのためには何が必要か

(1) 大森市民農園開設の目的と経過、課題について 大森市民農園管理組合代表 和田 泰行

(2) 楽しく人が集まる市民農園の事例と課題報告

○京都府舞鶴市瀬崎 滞在型市民農園・ふるるファーム 代表 秋安 俊豪

○京都市山科区 農業体験農園・すこやかファームおとわ 代表 溝川 長雄

(3) 討論：テーマ：魅力ある市民農園にするためには何が必要か！

コーディネータ：河村律子（日本都市農村交流ネットワーク協会理事、立命館大学准教授）

一、昼食：地域朝市女性会のみなさんに地域の素材を使って作っていただきます。お楽しみに

一、散策：春の山野草の摘み取り、映画「古都」の舞台・中川地区の散策と旧家の見学

【参加費用と申し込み】 一人1300円（昼食代、諸費用等）、申し込みはFAX 075-406-2823またはメール

◎申し込み要綱（裏面）◎締切日：3月25日（火）、会場、食事準備のため必ず申し込みをください

◎問い合わせ：協会事務局：吹田 電話080-3853-5682、メール：tomohisasuita@gmail.com

【当日の集合】 時間：9時30分。烏丸御池角北・京都国際マンガミュージアム前からマイクロバスを出します。約50分の道程。自家用車の方は国道162号線、福王子交差点を北西へ車で約25分

主催者：大森市民農園振興協議会（構成：NPO法人 日本都市農村交流ネットワーク協会、
京都北山杉の里総合センター、大森市民農園管理組合）

2014年3月 第4回 農村・農業体験交流会企画 「市民農園サミット」 申し込み用紙

申し込み先： 大森市民農園振興協議会

事務局担当 松本吉弥、吹田知久

FAX番号： 075-406-2823

(京都北山杉の里総合センター)

メール： tomohisasuita@gmail.com

以下、申し込みます。

お名前	バス乗車 ○、×	住所	電話

事前のご意見欄 司会が紹介します。

市民農園・・・私の意見

◎お名前 ()